



ふれあいの場きらりん

～ 歩いて通う、意識が通う、心が通う、
顔なじみから仲間へと絆が繋がる居場所～



施設のロビーを活用したコミュニティカフェで
楽しく語らうボランティアスタッフと参加者

■協働パートナーの種別

NPO	地縁	社協	学校・ 大学	企業	行政	その他
-----	----	----	-----------	----	----	-----

■事業運営団体

ふれあいの場きらりん

■協働パートナー

- ①社会福祉法人 涼風会
- ②学校法人 鏑木学園にしはら幼稚園
- ③社会福祉法人 いづみ
- ④西原地域ふるさと協議会
- ⑤柏北部第2 地域包括支援センター
- ⑥社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 計6団体

■事業費 年間約 10 万円

■資金調達手段 補助金・利用料等受益者負担

【事業概要】 特別養護老人ホーム 柏きらりの風 1階ロビーで、毎週木曜 10時～15時、地域の住民ボランティアによるカフェが開催されています。誰もが気軽に立ち寄り、お茶やコーヒーをいただきながら交流し、ゆるやかな仲間づくりの輪が育まれています。お昼前には近くの工房スノードロップ(就労継続支援 B 型)からパンが届けられ、障害を持った方が販売を担当されています。パンは毎回大人気。施設入居者の方もカフェを楽しまれています。

🕒 協働までの経緯

ふれあいの場きらりんが運営されている柏市西原地域では、以前より「みんなが集まれる居場所がほしい」との住民ニーズがありました。それに呼応して特別養護老人ホーム 柏きらりの風施設長から「施設を居場所の会場として提供可能」との提案があり、地域支えあい推進員がコーディネートしながら、西原地域ふるさと協議会役員をはじめとする地域住民と施設職員の協働による居場所(通いの場)づくりが始まりました。その過程で工房スノードロップ(社会福祉法人いづみ)のパンの導入が住民より提案され、障害者の方によるパン販売も行われることとなりました。

🕒 主な事業内容(年間スケジュール等)

通年でコミュニティカフェを実施しています(毎週木曜、10時～15時)。お茶やコーヒーの提供、工房スノードロップ(就労継続支援 B 型)のパン販売、柏北部第2 地域包括支援センターによる介護予防講座・認知症カフェ、地域住民が講師をつとめるワークショップなど。お昼時には施設職員の方による健康体操・カラオケコーナーもあり、皆さんが楽しめるひと時となっています。

● 主な協働パートナーとの役割分担

【社会福祉法人】涼風会

会場の提供・レクレーションの提供・施設入居者の参加

【学校法人】鍋木学園にしはら幼稚園

園児保護者にきらりんを周知し、参加を呼び掛けている

【社会福祉法人】いづみ

工房スノードロップ(就労継続支援B型)で製造されて

いるパンをきらりに搬入、障がい者の方も販売を担当

【地縁組織】西原地域ふるさと協議会

立ち上げ時の備品購入費用を補助、地域内に

チラシを回覧・掲示、ふるさと協議会 HP に情報を掲載

【行政機関】柏北部第2地域包括支援センター

介護予防講座や認知症カフェを実施。センターに

つながっている住民を、きらりに案内

【社会福祉協議会】柏市社会福祉協議会

立ち上げに際し、支えあい会議や説明会、

ボランティアミーティング等を支援。補助金を助成

● 協働事業によって生まれた成果

住民ボランティア団体である ふれあいの場きらりん

だけでは実現が難しいパン販売等が可能になり、

多様な人が集う機会の創出につながっている。

● 今後力を入れていきたいこと

○力を入れていきたいこと1 活動を継続するとともに、

先行事例として他施設等での居場所づくりに応用

○力を入れていきたいこと2 きらりんのネットワークを活かし

地域住民ひとりひとりの「できること」を、交流の活性化や

ちょっとしたお困りごとのサポートへとマッチングを進める

♡ コラボのコツ!!

★コツ1：小さなことも、関係者が直接話し合って決めるようにしました！

★コツ2：連携可能な地域関係者とのネットワークを積極的に広げています！

★コツ3：関わる全ての団体・関係者がwin-winになるよう心がけています！

居場所づくりに向けての取り組みが始まった頃、地域住民と施設関係者には

まだ共通認識がなく意思の疎通もスムーズではなかったため、対等に話し合う場

(支えあい会議)を複数回設定し、細かなことも直接コミュニケーションをはかり

ながら取り決め、少しずつ信頼関係を築きました。また、きらりんが地域のハブ

となるよう、連携可能な団体・関係者に積極的に声をかけ、ネットワークを広げて

います。その際に心がけているのは、関わるすべての団体・関係者にとって良

い影響がもたらされる(win-winになるよう)ような関係性を可能にすることです。

誰かが我慢をする、あるいは誰かだけが良い思いをすることがないよう、全体への目配りを大切にしています。



工房スノードロップのパン販売は大人気



地域の方が先生となって、手芸ワークショップ

協働事例プロフィール

【活動開始年】2018年6月

【活動の PR 手法】地域内にチラシ回覧・掲示、西原地域ふるさと協議会 HP、西原近隣センターや柏北部第 2 地域
包括支援センターにチラシ配架

【この事業で活用した補助金】 柏市社会福祉協議会 通いの場事業費補助金

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 2018 年 12 月 柏市住民福祉大会にて表彰、web 版東葛まいにち掲載